

支笏湖歴史年表2015 (『志古津』版)

凡例

- ・この年表にはそれらの時代背景を知るうえで必要な出来事も併せて記載した。
- ・同年中の事項は日付順に、不明なものは「この年」、「この年の」、「この頃」として記載した。月の未確定なものは「秋」などと表記した。

・読みにくい地名・人名にはルビをつけた。

・アイヌ語を起源とする地名であっても現・字名は漢字表記とした。

・正式名称が多く文字数を要する場合、初出に(略称)を付し、後は略称とした。

・不確定な事項については末尾に「※」を付した。

・用語は一部、当時の呼称を用いている。

*出来事の作成にあたっては千歳管内を中心に記載し、『千歳市史』、『増補千歳市史』、『新千歳市史』、『新千歳市史機関誌』、『志古津』各号、『千歳民報』、『北海道新聞』を主な典拠とし、そのほかの文献・資料によって補った。

*北海道庁∥昭和22年(1947)地方自治法施行までは内務省直轄の地方行政官庁

*モーラップ∥千歳市の字名「モラップ」の通称

年表

正保元年(1644)

秋 松前氏広幕府呈上『正保御国絵図』に「シコツ越え」を描く

万治元年(1658)

この年 地名「志古津」初出(『福山秘府』中「志古津弁財天小社建立」の記録)

寛文6年(1666)

この年 僧円空、志古津弁天堂に自作仏像奉納

寛文7年(1667)

8月6日 樽前山最大規模噴火、火砕流山麓に達し噴煙は成層圏、降灰は苦小牧で1〜2m、十勝、道東方面降灰

享保9年(1724)

7月 前年、西蝦夷地サケ不漁、東蝦夷地シコツでもアイヌに餓死者出る。

松前藩、幕府に報告

元文4年(1739)

7月14〜26日 樽前山大噴火、火砕流山麓に達し山頂にカルデラ形成、降灰は苦小牧で50〜80cm

小牧で50〜80cm

宝暦13年(1763)

6月 飛騨屋久兵衛(蝦夷檜材業)手代、支笏湖で怪獣に出会う

享和2年(1802)

2月 幕府「蝦夷地之奉行(5月改称・箱館奉行)」新設、羽太正頼・戸川安論を任命

文化2年(1805)

この年 箱館奉行羽太正頼、「シコツ」を「千歳」と命名

文化9年(1812)

この年 狩野派画家谷文晁『日本名山図譜』発行、谷元巨画とされる樽前山を掲載(樽前山図画初出)

文化年間(1804〜1817)

樽前山中噴火、外輪山・中央火口丘形成

安政4年(1857)

7月 松浦武四郎、千歳(支笏湖)周辺踏査(5回目の蝦夷地踏査)

この年 荒井金助・村垣淡路守、石狩〜千歳間道路開削

慶応3年(1867)

初秋 樽前山中噴火、古期溶岩ドーム形成
慶応4(明治元)年(1868)

7月 仙台藩白老元陣屋藩士が陣屋放棄(仙台藩降伏・追討軍白老進軍情報)・美笛のシラツチセに潜伏後、小樽からの船で帰国

9月8日 明治と改元、一世二元の制を定める

明治2年(1869)

8月15日 千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏柵舞6村↓胆振国千歳郡編成
(蝦夷地を北海道と改称し11国86郡を置く)

8月20日 千歳郡、高知藩支配

明治4年(1871)

4月 勇払郡開拓使出張所開庁(千歳を管轄する初の行政機関)

8月20日 千歳郡の高知藩支配免除し、開拓使直轄(引渡M5・5・1)

12月25日 樽前山噴火、古期(前存)溶岩円頂丘崩壊し約100mの凹地となる

明治5年(1872)

5月 開拓使千歳出張所開庁(千歳管内初設置の行政機関)

12月25日 樽前山大噴火

この年 幌美内「太平山」碑(恵庭岳硫黄採掘安全祈願・秋田市広面赤沼三吉
寺社分身) 佐竹義理建立

明治6年(1873)

12月 室蘭街道(現・国道36号)開通(工事請負Ⅱ伊藤一隆の父・平野弥

十郎)

この年 開拓使千歳駅通所開設

明治7年(1874)

2月8日 樽前山中噴火、古期溶岩円頂丘破壊

2月16日 樽前山噴火、札幌方面降灰

4月28日 開拓使千歳出張所廃止し勇払出張所所管(以後、千歳郡の所管ⅡM8

勇払出張所廃止し本庁民事局所管勇払詰所、9民事局所管廃止し勇払
詰所を勇払分署、10勇払分署廃止し本庁所管、12郡区町村編成法・大
小区廃止し郡区町村編成、13勇払五郡役所開庁)

明治10年(1877)

この頃 支笏湖街道(沼街道)開削(マチ、藤の沢経由)

明治11年(1878)

9月3日 英旅行家イザベラ・バード、北日本踏査中に見聞した樽前山を『日本
の未踏の地(1911刊)』に記述:樽前山欧州初紹介

11月13日 官営美々鹿肉缶詰所開設(M13休業、M17・6廃止)

明治12年(1879)

この年 塩谷栄作が漁に来住し旅宿経営(屋号(駒)、後に幌美内で温泉宿
(屋号(駒))を営む)

明治13年(1880)

3月1日 千歳外五カ村戸長役場開庁(千歳開庁記念日)

8月 千歳地方バツタ被害(十勝国バツタ大発生飛来)

明治14年(1881)

1月 開拓使札幌本庁地理課森林派出所設置、樽前官林管轄

8~9月 明治天皇北海道御巡幸

9月2日 明治天皇、千歳に行幸し千歳行在所(あんざいしょ)宿泊(新保旅館)

明治16年(1883)

10月7日 樽前山噴火(10・18、11・15にも噴火)

明治18年(1885)

1月4日 樽前山噴火(3・26にも噴火)

明治19年(1886)

- 1月26日 北海道庁設置(3月開庁)
- 4月13日 樽前山噴火(4・15、16、28にも噴火)
- 明治20年(1887) 9月3日 樽前山噴火(10・7、8にも噴火)
- 明治21年(1888) 11月 国費で千歳鮭魚人工学化場開設(北海道庁水産課技師伊藤一隆)
- 明治22年(1889) この年 支笏湖・樽前山一带国有林が御料林編入
- 明治27年(1894) 2月8日 樽前山噴火(8・17にも噴火)
- 12月 阿寒湖カバチエツポ(後・姫鱒)卵支笏湖移植。支笏湖孵化場、仮小屋建築(〜M30)
- 明治28年(1895) 4月 カバチエツポ孵化稚魚初放流(12万尾)
- 明治29年(1896) 6月 津田震一郎、丸山にマッチ小函素地製造「北海工場」創業(材Ⅱエゾマツ/M38・1廃業)
- 11月9日 捕魚車(後・通称インディアン水車)始動(〜12・12)
- 明治30年(1897) 10月23日 カバチエツポ初回帰確認
- この年 樽前山一等三角点石柱埋設(東ビーク)
- 明治31年(1898) この年 千歳鮭魚人工学化場支笏湖学化場開設(※)
- 明治33年(1900) この年 カバチエツポ卵亀田郡漁業組合へ分与(初)
- 明治35年(1902) 12月 カバチエツポ卵十和田湖及び大沼へ分与
- この年 木材搬出本格化、筏湖上輸送開始/札幌・坂本木材が建設材として千歳川流送(ネッソウくポロソウⅡ木製軌道)
- 明治36年(1903) この年 カバチエツポ卵田沢湖(道外初)及び大沼へ分与
- 明治37年(1904) 9〜10月 王子製紙専務鈴木梅太郎一行、千歳川・支笏湖周辺調査
- この年 初造林(クロエゾマツ山引苗3・66ha/モラップ部分林東隣地315林班/御料局札幌支庁苦小牧出張所)∴M36説あり
- 明治39年(1906) 4月7日 王子製紙千歳川水利権取得
- この月 王子製紙土地買収開始
- 9月22日 御料局札幌支庁、王子製紙に林木払下げ契約(M40〜八万尺メ/年、10年契約するも1年で中止)
- 10月 王子製紙臨時株主総会で苦小牧工場新設正式決定
- 明治40年(1907) 9月 支笏湖請願巡査駐在所開設(請願Ⅱ王子、明治末期廃止)
- 10月26日 王子製紙苦小牧工場専用鉄道(山線・王子軽便鉄道/軌間762mm)敷設工事認可
- この年 王子製紙苦小牧工場及び発電所建設材として湖畔・紋別・幌美内・奥澤・支寒内から伐出開始
- 明治41年(1908) 1月 山線機関車2両三井物産合弁発注(米ポーター社9月製造)
- 5月 王子製紙苦小牧工場建設着工

- この頃 千歳川河口に木製線路橋完成
- 7月15日 王子製紙千歳川ネッソウ仮発電所落成
- 8月12日 山線運行開始
- 12月26日 北海道庁水産課技師森脇幾茂、カバチエツポの「姫鱒」命名提案
- この年 支笏湖孵化場改築
- 明治42年(1909)
- 1月6日 カバチエツポの「姫鱒」命名決定
- 4月17、19日 樽前山大噴火・溶岩円頂丘噴出(1・11、3・30、4・12、5・15にも噴火)
- 明治43年(1910)
- 7月12日 王子製紙千歳川第1水力発電所(第1発電所/水溜)送電開始
- 9月 王子製紙苦小牧工場操業
- この年 姫鱒卵洞爺湖他9カ所へ分与
- 明治45(大正元)年(1912)
- 10月 水溜に千歳村烏柵舞特別教授所設置(後・水明小学校)
- 9月12日 皇太子殿下(後・大正天皇)王子製紙苦小牧工場ご視察、この日をもつて苦小牧工場操業記念日とする
- 大正2年(1913)
- 南7条林道開削(S44改線↓第1縦断林道)
- 大正3年(1914)
- この年 筏曳航船千歳丸(5t)運航
- 大正4年(1915)
- 4月20日 千歳、長都、蘭越、烏柵舞4村合併 千歳村2級町村制施行
- 11月 大正天皇即位大礼に際し、支笏湖ザリガニ2000匹献上(NHK)
- 全道から2000匹
- 12月 佐々木初太郎、丸駒温泉旅館開業
- 大正5年(1916)
- 3月 王子製紙第2発電所完成
- 8月 田中阿歌麿、田中館秀三、小久保清治の三理学博士が湖深度、周辺地質、火山調査実施。支笏湖最深度はルーカス式深測器で363m
- この年 王子製紙苦小牧工場倶楽部別邸完成(王子別邸/総檜造)
- 大正6年(1917)
- 12月 王子製紙、烏柵舞に私立王子尋常小学校設置(特別教授所廃止)
- この年 樽前山噴火(4・30、5・12にも噴火)以後、小噴火約20年継続樽前山標高1024m(東ピーク)決定
- 大正7年(1918)
- 5月10日 王子製紙第3発電所完成
- 6月13日 樽前山噴火
- 8月25日 王子別邸初御泊所となる(閑院宮同妃若宮殿下、戦前・戦中皇族ご宿泊19回)
- この年 夕振、標高321m地点を「丸山遠見」と命名、簡易な櫓建設
- 大正8年(1919)
- 2月 烏柵舞地区住民38人苦小牧町への編入請願書提出(千歳村・大正12年に水明墓地の設定、冬期間水明児童館、千歳村休泊所(後・北大生寮)設置約束)
- 5月4日 樽前山噴火
- 11月 王子製紙第4発電所完成
- この年 支笏湖へ長都沼からカワエビ移植(スジエビ6升)
- 大正9年(1920)

7月22日 樽前山噴火
この年 村道烏柵舞街道開削(千歳)王子製紙第4発電所
北海道水産試験場(道水試)千歳支場から虹鱒移植(10万2000尾)

尾)

大正10年(1921)

7月6日 樽前山噴火
10月 支笏湖巡查駐在所開設(水溜)
この年 道水試千歳支場から虹鱒稚魚移植(7万2000尾)
北海道庁、天然記念物候補地として支笏湖周辺調査

大正11年(1922)

4月1日 山線、一般乗客受入
7月 摂政宮(後・昭和天皇)支笏湖行啓、山線貴賓車(苫小牧王子アカシア公園静態保存)運行、王子別邸小憩
この年 支笏湖保勝会設立(姫鱒保護育成、捕獲開始(中村組(現・菱中)漁業部)、S1捕獲事業官営に戻す・保勝会S7解散活動実態不詳)

大正12年(1923)

2月21日 樽前山噴火(6・17、29、7・13、14にも噴火)
4月 王子尋常小学校が王子尋常高等小学校になる
この年 筏曳航船みどり丸(12t)運航
関東大震災復興材として支笏湖周辺から正角7万石緊急伐出

大正13年(1924)

6月 千歳村全村を国立公園にの請願書提出
この年 丸山苗畑開設(苫小牧管林署管内最古)／北海工場跡地25×50m带状林間苗畑
山線千歳川河口にトラス鉄橋架橋(支笏湖鉄橋)／函館本線砂川(滝川

間第1空知川橋梁(北海道官設鉄道M32英製)払下げ)：現・山線鉄橋
「支笏湖」を「千歳湖」に改名する上申書提出

大正14年(1925)

この年 谷本亀、支笏湖初動力遊覧船運航
姫鱒全滅の危機(乱獲+プランクトン減少)美笛、オコタン、ニナルストマナイ川に過燐酸を大量に堆積させ自然流出(ザリガニ、カワガニ全滅(ザリガニ消滅はS3頃説あり))
長都沼からフナ成魚移植(100尾)
択捉郡(島)留別村得茂別湖(ウルモベツ/5・8km)から姫鱒卵移植(翌年)かけ/卵10万粒、放流9万尾

大正15(昭和元)年(1926)

10月19日 樽前山噴火(24、26、30日にも噴火)
10月22日 小樽新聞社機、樽前噴火空中取材(酒井憲次郎操縦「北海」1号機)
10月 酒井憲次郎操縦「北海」1号機千歳着陸場着陸
10月以降 阿寒湖からマリモ支笏湖移植
ウルモベツから紅鮭卵80万粒移植(S2、3、7、8、10、11、12、14、15にも移植)
道水試千歳支場から虹鱒稚魚移植(2万尾)

昭和2年(1927)

6月 支笏湖郵便取扱所開設(水溜)
この年 樽前山神社奥宮建立(樽前山頂/木造/S29洞傘丸台風で崩壊)

昭和3年(1928)

9月 樽前山噴火(9・6、10・25にも噴火)
この年 洞爺湖産姫鱒卵移植(10万粒)

支笏湖鮭鱒孵化場改築（H26解体）

昭和4年（1929）

この年 道千歳鮭鱒孵化場から白鱒幼魚移植（392尾）

昭和6年（1931）

この年 道千歳鮭鱒孵化場から河鱒稚魚移植（18万4280尾）

昭和7年（1932）

この年 支笏湖保勝会活動再開（観光地化に伴う保護活動目的）

阿寒湖産鮭卵移植（20万粒）

昭和8年（1933）

5月 大野真澄、美笛モシルンピイト流で金鉦露頭発見

8月22日 烏柵舞道路開通式（千歳→支笏湖）

12月1日 樽前山噴火

昭和9年（1934）

4月2日 山線終点・上千歳→市街地間延長を王子製紙に請願（千歳村）

10月28日 千歳飛行場完成

この年 山線冬期間運行（11月下旬→5月上旬）

湖岸石垣防波堤完成（山線鉄橋→孵化場間）

大野真澄、金鉦を中島商事に売却

昭和10年（1935）

6月 山線4号機関車製造（小樽橋本鉄工所）

9月 中島商事、金採掘開始

10月 千歳鉱業所坑外専用軌道敷設（軌間762mm中村組敷設／加藤製作所）

ガソリン機関車5両配置

この年 帝室林野局、木材直営生産開始

谷本商店三〇通船部遊覧船第1・第2観光丸運航

千歳→中モラップ間道路完成

昭和11年（1936）

9月 支笏湖郵便局開局（無集配3等局、水溜郵便取扱所廃止）

10月1日 中島商事、千歳鉦山（株）設立 金採掘本格化（元山）

この頃 千歳鉦山請願巡查駐在所開設（S13→18千歳鉦山巡查部長派出所）

11月15日 樽前山噴火（11・25にも噴火）

この年 北海道漁業取締規則解禁区設定、鮭鱒釣り11月6→9月

翠明閣（大正初期建）王子製紙（山林部宿舎）、中村組受託経営

千歳自動車合資会社、千歳→中モラップ間バス運行

昭和12年（1937）

2月15日 烏柵舞尋常高等小学校千歳鉦山特別教授場開校（美笛倶楽部2階）

3月27日 千歳鉦山専用線、国鉄苫小牧駅構内敷設（山線→国鉄積替用）

10月15日 千歳鉦山尋常小学校開校

12月2日 千歳鉦山尋常高等小学校開校

この月 支笏湖郵便局電話取扱開始（集配3等局昇格）

この年 洞爺湖産鮭卵移植（50万粒）

北海道鉄道バス、千歳駅→支笏湖（現・休暇村入口付近）間運行

山線交換駅・六哩駅（高丘）新設

昭和13年（1938）

2月7日 美笛郵便局開局（無集配3等局）

9月7日 日独青年交換会でヒットラーユーゲント、モラップ野営

9月28日 村道支笏湖街道、地方費道（＝県道）昇格し千歳支笏湖線となる

11月 支笏湖郵便局新築移転（翠明閣横）

この年 日本鉦業恵庭鉦業所開坑（恵庭岳西北）

支笏湖鮭鱒保護協力会設立（支笏湖保勝会改組）

三〇通船部遊覧船連航中止(支那事変↓燃料不足)
千歳鉱山福神坑開発

昭和14年(1939)

11月1日 千歳海軍航空隊開庁

12月 千歳鉱山青化製錬所完成(250t/日)

この頃 千歳鉱山人口5000人超(戸数約600)

この年 千歳鉱山警防団創設(S22・4廃止)

昭和15年(1940)

4月 美笛地区に植樹用苗畑開設

7月 美笛郵便局舎新築移転

昭和16年(1941)

2月6日 王子製紙第5発電所完成

3月1日 国民学校制移行

12月8日 陸軍、英領マレー敵前上陸、海軍、ハワイ海戦(WWII参戦)

この年 丸山神社遷座(丸山中腹T2建立↓丸山集落)

昭和17年(1942)

1月21日 美笛郵便局電信電話取扱開始

2月 千歳鉱山、蒸気機関車2両新造(日本機械車輛、米ガソリン禁輸)

3月1日 千歳鉱山募集朝鮮人(331人中34人) 食料増配要求の紛争発生

5月1日 千歳町制施行

秋 丸山遠見望楼建設(木造2階建・2階部分総ガラス張り、戦争末期防空監視所)

12月 千歳鉱山坑外軌道に芦別森林鉄道バグナル17号機ベアトリス入線

御料林産材輸送(S18・4)

この年 千歳鉱山坑内軌道改軌(ニチユ蓄電池機関車・508mm↓500mm)

昭和18年(1943)

4月1日 金鉱業務整備令実施、千歳鉱山・恵庭鉱山休山(保坑)

8月30日 支笏湖巡査駐在所、水溜↓支笏湖畔移転(告示のみ、S20移転)

この年 プロペラ材としてマカバ大量伐採(紋別岳東斜面/陸軍駐屯)

昭和19年(1944)

1月1日 苫小牧町、字名「丸山」新設、山線十三哩駅改称↓丸山駅

7月2日 樽前山噴火

昭和20年(1945)

7月14日 北海道空襲米艦載機カーチスSB2Cヘルダイバー艦爆、樽前山南東

斜面7合目付近墜落、搭乗員3人死亡・1人68日間山麓潜伏

8月15日 敗戦、海軍第2滑走路(連山滑走路)完成

10月5日 連合国軍(米軍)小樽上陸、千歳飛行場占領

この月 支笏湖巡査駐在所移転

11月12日 連合国軍最高司令官総司令部、国立公園等の保護保全を指令

昭和21年(1946)

3月 仮称「道南」国立公園指定促進期成会設立(5月説あり)

この年 第1発電所上流千歳川に木橋架設(人道橋/現・翠明橋)

高橋長介、釣り船13隻新造、戦後初の貸船業開始

昭和22年(1947)

4月1日 御料林、農林省に移管し国有林

この月 札幌土木現業所千歳出張所開設

5月 恵庭営林署千歳・烏柵舞・紋別担当区事務所開設

9月20日 支笏湖巡査駐在所、苫小牧警察署から札幌警察署管内移管

9月23日 町役場湖畔支所設置(管轄〓烏柵舞全域/S22北大寮借上、23中村組

配給所倉庫借上、24現・商店街中央、32現・駐在所横(建設中〓ユ一

スホステル借上)、61支笏湖市民センター)

12月25日 烏柵舞小学校支笏湖季節分教場を北大寮内に設置

この月 支笏湖周辺苦小牧編入問題再燃

この年 現・翠明橋、自動車通行可能となる

昭和23年(1948)

1月20日 烏柵舞小学校支笏湖季節分教場授業開始

4月1日 苦小牧市制施行

6月 米国立公園局チャールス・リッチー、国立公園指定調査実施

7月 北海道中央バス(中央バス)、札幌↪千歳↪支笏湖間運行

10月15日 支笏湖鮭鱒孵化事業協力会設立

この年の 貸船・遊覧船業者/支笏湖畔Ⅱ小村開三、小野寺寿、貫田剛吉、菱中

通船部、山森三郎、加藤喜久、岡部六郎、八木勝男、佐々木広見、モ

ラップⅡ山田金次郎

昭和24年(1948)

1月 烏柵舞小学校支笏湖季節分教場独立し支笏湖小学校開校

2月18日 苦小牧市立苦小牧東小学校丸山分校開校(営林署車庫改造)

3月24日 支笏湖観光設立、発起人苦小牧8人・千歳21人、資本金300万

この月 樽前山神社、樽前山頂奥宮敷地88.0mを国から購入

4月 烏柵舞小学校に千歳中学校烏柵舞分校併置

5月16日 支笏洞爺国立公園指定

5月24日 千歳観光協会(現・千歳観光連盟)設立、当時支笏湖観光協会(元・

支笏湖鮭鱒孵化事業協力会)と並立

7月26日 支笏洞爺国立公園指定記念式典(於・札幌市内)

8月1日 支笏湖観光ホテル開業

この月 道営モーラップ野営場開設

9月 『観光の千歳』(千歳初観光パンフレット)発行

この年 商店地区に支所建設事務開始

米軍イチャンコッペ山頂レーダー基地着工(朝鮮戦争勃発で中止)

昭和25年(1950)

2月18↪19日 第1回さっぽろ雪まつり

3月 支笏湖郵便局電話交換業務開始

4月 千歳鉦山中学校開校

山線、丸山↪第4発電所間バス移行

8月24日 苦小牧市道支笏湖産業道路(苦小牧↪支笏湖/現・国道276号)竣工

8月25日 苦小牧市営バス、支笏湖線運行(4往復/日)

9月23日 支笏湖畔で苦小牧歌謡発表会開催、「千歳音頭」千歳管内初披露

この年 千歳鉦山、三菱傘下(現・三菱マテリアル)となりフレナイ坑開発

千歳鉦山舳曳航用白銀丸(鋼船19t)進水

昭和26年(1951)

1月29日 樽前山噴火(7・28にも噴火)

4月1日 苦小牧市立苦小牧東小学校丸山分校分離独立し丸山小学校開校

5月1日 字名改正、内別から千歳鉦山までの烏柵舞番外地↪湖畔地区を「湖

畔」、鉦山地区を「美笛」、発電所地区を「水明郷」など。(旧・

烏柵舞367世帯2036人)紋別24世帯104人、水明郷65世帯

303人、藤の沢17世帯72人、湖畔68世帯357人、モラップ13世帯

39人、幌美内4世帯14人、美笛176世帯1147人、西森・支寒

内・奥潭Ⅱ0

5月10日 山線廃止(全線、王子専用バス運行)

この月 町役場美笛支所設置

6月 中央バス、札幌↪千歳↪支笏湖間運行

- 7月 開発建設部千歳出張所開設
- この年 苦小牧営林署入潤いりま(防波堤付簡易船舶繫留施設)完成
北海道漁業調整規則施行釣り期間(6～8月)、解禁区域(美笛追加)指定
地蔵尊(水難供養)地元有志建立(S46※現在地移設)
- 昭和27年(1952)
7月 千歳鉱山、坑外軌道撤去し鉱石輸送をトラックに切替
8月 モラップに苦小牧市営樽前荘建設
10月13日 支笏湖集団施設地区・一般計画画樹立(※)
この年 ヒメマス解禁期間6～8月
- 昭和28年(1953)
5～7月 姫鱒孵化事業協力会施肥実施(ニナル川もしくは美笛川に硫安・過燐酸石灰)
6月19日 厚生省、支笏湖にレンジャー配置
6月26日 第1回支笏湖湖水まつり開催(S26説あり)
この頃 米軍支笏湖水上訓練場設置(モラップ一の沢、FAC-1057・通称レクエリア)
- 8月 苦小牧市営バス、モラップ線運行
9月14日頃 樽前山噴火
9月22日 特別地域・特別保護地区指定
この月 丸駒温泉旅館に土石流直撃
- 昭和29年(1954)
3月30日 千歳支笏湖線、道道支笏湖公園線として路線認定
支笏湖産業道路、道道苦小牧支笏湖線として路線認定
この月 湖畔地区簡易上水道完成
- 千歳交通(千歳ハイヤー)支笏湖営業所開設
4月18日 支笏湖集団施設地区指定(自然保護官事務所資料S32・10・1)
5月2日 樽前山噴火(11・19にも噴火)
9月26日 洞爺丸台風(15号台風)により支笏湖樽前山一帯森林大被害/丸山遠見望楼被害のため改築
- この年 湖畔市街地地区、農林省から厚生省に移管
- 昭和30年(1955)
2月14日 樽前山噴火
7月 支笏湖ユースホテル開業(日本ユースホテル協会直営第1号/旧・支笏湖小学校校舎)
この年 支笏湖グランドホテル本館建設
樽前山神社奥宮再建(混造)/資材運搬のため現・登山道でできる樽前山標高空中写真測量によって修整1042m(ドーム)
支笏湖観光船企業組合創設(町指導による遊覧船・貸ボート業者統合)・道補助金を受け室蘭港内貨物船を支笏湖で改造し、系に丸(20t)就航
- この年の 支笏湖遊覧船/清和丸(定員50)、はやぶさ丸16、第1つばめ丸36、第2つばめ丸24、第1千鳥丸22、第2千鳥丸17、つばさ丸7、丸駒丸38、モラップ丸34/貸ボート237艘
- 昭和31年(1956)
1月 水明中学校開校
10月 紋別岳無線中継所運用開始
この年 苦小牧観光協会「湖畔の夕べ」開催(後・モラップキャンプまつり)
湖畔地区千歳郵便局管内になる(千歳から郵便輸送開始)

紋別岳山麓南斜面にスキー場開設（S 37・2・21高松宮殿下・支笏湖
スキー場と命名）

昭和32年（1957）

- 2月 水明小学校藤の沢分校開校
- 10月1日 支笏湖集団施設地区区域指定（『増補』S 29・4・18）
- この年 奥潭で初の温泉井掘削（B0 船着場、少量自噴）
いとう温泉ホテル開業（S 53改築）
苫小牧市道樽前山登山観光道路開通

昭和33年（1958）

- 6月9日 道営モーラップキャンプ場千歳町移管
- 6月23日 皇太子殿下支笏湖ご遊覧
- 7月1日 千歳市制施行
- 11月1日 石山〜丸駒間道路開通（S 34年豪雨土砂崩れにより不通）
- 11月12日 美笛〜大滝間道路開通式
- この年 支笏オコタン荘開業
道内各地温泉乱掘問題続発↓道林務部林政課が市の一括泉源保持要請
↓市議会が市の湯本権利取得と供給を承認↓市が支笏湖周辺温泉開発
に至る

支笏湖企業船組合設立（旧・支笏湖観光船企業組合）
支笏湖南岸林道（支笏湖畔林道）丸山〜美笛〜奥潭間工事着工（札幌
営林局）
第1回支笏湖回転スキー競技大会開催（第31回まで開催）
恵庭町道の林道恵庭支笏湖線開通（S 36道道光竜鉱山停車場線、S 57
主要道道恵庭岳公園線）

昭和34年（1959）

2月 支笏湖自治消防団設置

9月5、6日 局地的豪雨により美笛川橋梁流出、道路決壊
10月1日 千歳山岳愛好会設立（S 55）千歳山岳会
この年 千歳鉱山元山・フレナイ坑休止、福神沢坑のみ採掘
水明中学校藤の沢分校開校

苫小牧市営樽前山七合目ヒュッテ、駐車場開設
苫小牧市営バス、樽前登山線運行
道道支笏湖公園線舗装工事着手

昭和35年（1960）

- 6月 支笏湖グランドホテル新館開業（S 36夏説あり）
- 7月13日 支笏湖コースホテル新館完成（赤い三角屋根）
- 8月4日 全国レクリエーション大会支笏湖開催
- 9月1日 愛林緑化思想昂揚記念部分林契約締結（植樹祭会場／道・営林局）
- 11月30日 奥潭1151林班オコタン・イ号で温泉井掘削成功（地下36m最高
45℃、110ℓ）同年B1、B2、B3井掘削⇨ホテルB2利用
- 支笏湖企業船組合、菱中通船部（みどり丸）全事業を北炭観光に譲渡
↓北炭観光遊覧船部門独立↓支笏湖観光運輸（株）設立（『市史』S
36）

この年 苫小牧市、苫小牧山岳会協力で樽前山七合目ヒュッテ開設
王子別邸、商店街南西から現在地へ移転（離れ座敷増築）
支笏湖南岸林道（支笏湖畔林道）完成

昭和36年（1961）

4月1日 千歳市温泉使用条例施行（規則施行S 42・7・1）
石切山〜丸駒間道路、道道308号丸駒札幌線として認定（総延長45
km中15km⇨幅員35m以下⇨自動車通行不可）

- 4月7日 奥潭1148林班オコタン・ロ号で温泉井掘削成功(B4井掘削Ⅱ4・25×5・22ホテル利用)
- この月 札幌オリンピック誘致時滑降コースを恵庭岳と内定(設定・国際スキー連盟滑降回転競技委員長ウオルフガンク)
- この頃 植樹行事のため王子製紙が水明郷くモラップ間受電設備設置(S37千歳市へ寄贈)
- 5月24日 天皇皇后両陛下をお迎えし第12回植樹行事・国土緑化大会開催(植樹祭/御泊所Ⅱ王子別邸、支笏湖畔モラップ山麓)
- 8月11日 第3回国立公園大会開催
- 11月25日 湖畔地区電話自動化即時通話化
- この年 十和田湖からヒメマス卵30万粒移植
ポロピナイキャンプ場開設
支笏湖グランドホテル別館完成
道南バス、洞爺湖温泉く美笛鉱山間運行
美笛く奥潭間道路開通(苦小牧管林署木材輸送事業林道Ⅱ支笏湖畔林道)
美笛丸(73・8t)進水
- 昭和37年(1962)
- 3月 モラップ地区を農林省から厚生省に移管
- 5月24日 植樹行事記念碑(植樹祭記念碑)除幕式
- 9月 王子製紙、鈴木梅四郎翁頌徳碑建立(水溜)
- 12月 僻地診療所開設(湖畔)
米軍支笏湖水上訓練場移設(モラップ一の沢河口↓シリシュット、宿泊施設17棟)
支笏湖北海ホテル開業(岩倉組、S55北海道交通)
- この年
- 昭和38年(1963)
- 5月 水産庁北海道さけ・ますふ化場千歳支場(水産庁)、シロザケとヒメマス交配種稚魚1万5000尾放流
- 6月15日 支笏湖診療所落成
- 7月28日 水産庁、シロザケとヒメマス交配種稚魚7000尾オコタンペ湖放流
- 8月1日 市道支笏湖周辺道路奥潭側着工(道道札幌支笏湖線く奥潭)
- 11月6日 国有林野内モラップ山スキー場運営協議会設置
- 10月13日 王子製紙支笏湖研修会館全焼
- 12月15日 千歳市、苦小牧市共同出資の国設モラップ山スキー場開設
- 昭和39年(1964)
- 3月31日 水明小学校閉校(※)
- 4月2日 千歳消防団(消防団)支笏湖分団創設(9月小型動力ポンプ配備)
- 5月15日 水明小学校閉校し支笏湖小学校に統合、水明中学校藤の沢分校廃止
- 7月2日 湖畔く幌美内間有料道路着工
- 7月15日 王子製紙支笏湖研修会館再建
- この月 水産庁、シロザケとヒメマス交配種稚魚4万尾放流(S40く42にも放流)
- 12月27日 市営支笏湖スケート場完成
- この年 千歳鉱山架空索道廃止
- 昭和40年(1965)
- 2月16日 美笛地区降雪40cm、260世帯孤立
- 4月 洞爺支笏湖線(現・国道276号)主要道道認可
- 5月24日 樹魂碑建立(口無沼15号台風風倒木処理基地跡)
- この月 千歳鉱山、湖上輸送をバス・トラック輸送に切替
- 6月 消防団美笛分団創設

7月23日 支笏湖畔バスターミナル完成(苫小牧市、中央バス共同出資)

この年 水産庁、シロザケとヒメマス交配種稚魚4万8720尾放流

中央バス、札幌↔千歳↔支笏湖、千歳↔支笏湖間運行

国設モーラップ山スキー場にリフト整備

千歳市山岳遭難救助隊設立(札幌地方山岳遭難対策協議会苫小牧支部から独立)

昭和41年(1966)

3月31日 水明中学校閉校

8月 道道支笏湖公園線舗装完了

10月7日 1972年札幌オリンピック冬季大会滑降競技会場に恵庭岳決定

この年 水産庁、シロザケとヒメマス交配種稚魚3万2650尾・サケ稚魚10万尾放流

昭和42年(1967)

1月 (株)翠明閣設立(資本金1000万円)

3月31日 水明小学校藤の沢分校廃止

4月26日 国立公園支笏湖運営協議会設立

5月16日 王子製紙、支笏湖鉄橋(現・山線鉄橋)を千歳市へ寄贈(ホテル翠明閣改装(リニアルオープン)記念として)・塗色Ⅱ茶

8月31日 第七師団レンジャー訓練で隊員4人がモラップで水死

9月20日 支笏湖畔有料道路開通

道道札幌支笏湖線全線未舗装開通(現・国道453号)

この月 道道苫小牧支笏湖線(幌美内↔丸駒/現・道道丸駒線)開通

昭和43年(1968)

7月4日 札幌オリンピック恵庭岳滑降コース建設許可(厚生省)

9月19日 札幌オリンピック恵庭岳滑降競技場起工式

10月10日 奥潭で温泉B5井掘削(12・2、S45・7追掘)

この年 道道苫小牧支笏湖線舗装完成(S44国道276号に昇格)

支笏湖定期観光バス夏季運行(札幌↔)

道道支笏湖公園線沿い100mを千歳風致保護林に指定

恵岳会設立

昭和44年(1969)

5月 支笏湖商工会設立(会長・千葉進、15人)：解散時期不詳

6月15日 ホテル支笏湖庭の湯開業

7月1日 中央バス、札幌↔幌美内↔支笏湖、千歳空港↔支笏湖間運行(1日9往復)

支笏湖観光運輸(支笏湖観光バス)、札幌五番館↔支笏湖、湖畔↔幌美内↔支寒内間運行

8月29日 第1発電所クマ出沒、老婆事件発生1人死亡(吉村昭著『熊撃ち』題材)

11月1日 米軍支笏湖水上訓練場、日本政府に返還

12月20日 千歳市青年の家支笏湖青少年研修センター開設

この年 美笛トンネル開通(335m)

昭和45年(1970)

2月6日 道道支笏湖線供用(道道認定3・31)

2月8日 全日本冬季競技総合大会(プレオリンピック)滑降競技が恵庭岳で開催

2月23日 南7条林道改線で第1縦断林道に改称(1万3701m)

3月16〜20日 雪害で道道洞爺支笏湖線全線不通、砥石沢で苫小牧宮林署員雪崩で行方不明

3月31日 市道支笏湖周辺道路と支笏湖畔林道、道道支笏湖線として認定

4月1日 道道苫小牧支笏湖線、他3路線とともに苫小牧～倶知安間国道276号昇格

4月7～9日 低気圧による大雨で支笏湖畔有料道路路面決壊(6月～片側交互交通⇨料金徴収せず)

7月21日 千歳観光協会法人化認可、社団法人千歳観光連盟発足

この年 支笏湖畔有料道路第1～第6覆道建設

昭和46年(1971)

2月5～10日 札幌国際冬季スポーツ大会(プレオリンピック) 滑降競技が恵庭岳で開催

5月24日 客船恵庭丸(65・5t) 進水(オリンピック観戦者湖上輸送用)

7月1日 環境庁発足(H13・1・6環境庁改組、環境省設置)

この年 札幌～支笏湖畔有料道路終点間舗装完了(道道札幌支笏湖線⇨現・国道453号)

札幌市常盤～支笏湖幌美内間自転車道路全線完成

道道札幌支笏湖線～奥潭間舗装完了

支笏湖汚染防止対策で簡易浄化施設設置、集水管渠路線切替(※)

苫小牧市丸山～モラップ間舗装完成

この年の 支笏湖遊覧船/恵庭丸(定員226)、美笛丸222、みどり丸85、

白銀丸50、第1樽前丸32/快速艇12隻/貸ボート705艘

昭和47年(1972)

2月5、7日 札幌オリンピック滑降競技恵庭岳開催(五輪期間3～13日)

12月 千歳観光連盟、千歳空港駐車場営業開始(認可・運輸省)

この年 中央バス、札幌～(道央自動車道経由)～支笏湖間運行

支笏湖レイクサイドホテル開業

昭和48年(1973)

7月2日 支笏湖観光事業共同組合(温泉管理) 設立

9月30日 支笏湖プリンスホテル(幌美内) 火災、重軽傷者10人

10月7日 支笏湖集団施設地区区域変更

11月 消防団支笏湖分団、消防ポンプ車1台配備

この年 口無沼、風景林に指定

昭和49年(1974)

6月 王子発電所員、苫小牧から通勤

9月 千歳市消防署(消防署) 支笏湖分遣所新庁舎落成

この月 支笏トンネル完成(995m)

10月17日 支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設

この月 ヒメマス尾ぐされ病(水カビ病) 発生、ヒメマス大量に岸に打ち上げられる(原因不明)

昭和50年(1975)

4月30日 支笏湖畔、第1泉源通湯式(39℃純重曹泉/天然ガス加盟5ホテル使用開始)

5月18日 『うちのホンカン』シリーズ放映開始(倉本總脚本/大滝秀治、八千草薫/「東芝日曜劇場」北海道放送制作S50・56) 全6作中支笏湖舞

台Ⅱ「ホンカンがんばる」うちのホンカンPARTⅡ(10・19)、

「嘆きのホンカン」PARTⅢ(S51・7・11)、

「冬のホンカン」PARTⅣ(S52・3・13)

6月1日 支笏湖自然の村開村(6月～9月/五輪跡施設)

6月1日 ヒメマス、尾ぐされ病で全面禁漁(⇨S53)

この年 支笏湖野鳥の森開設

千歳市、ポロピナイ休憩所開設(支笏湖観光センター)

昭和51年(1976)

支笏湖観光センター

6月4～9日 風不死岳クマ出没、風不死事件発生（4、5日2人重傷／9日2人死亡1人重体）

9月27日 支笏湖畔国民休暇村起工式

この年 支笏湖北海ホテル開業（旧施設買収）

地蔵尊を支笏湖老人クラブが清掃と法要のボランティア開始

昭和52年（1977）

4月 第1回支笏湖湖水開き、メイン行事・地元青年4人の「歴史の再現いかだ流し」 Ⅱ松浦武四郎「夕張日誌」記述の奥潭↓湖畔筏渡り

7月23日 国設美笛野営場開設（苫小牧営林署開設、千歳市管理受託）

8月 有珠山噴火

9月19日 支笏湖畔国民休暇村開業

この月 支笏湖自然の村廃村決定（3年間利用者4962人、S53解体）

10月16日 第1回支笏湖紅葉まつり開催

10月30日 千歳鉱山小中学校閉校

11月15日 千歳鉱山職住分離完了（雇用促進住宅真町宿舍入居）

11月30日 美笛支所廃止

12月21日 道道丸駒線供用

この月 消防団美笛分団廃止（S53・1・11解団式）

昭和53年（1978）

2、3月 支笏湖全面結氷

3月31日 千歳鉱山小中学校閉校

4月25日 支笏湖ヒメマス釣魚対策協議会設立総会

5月14日 樽前山小噴火（22時53分～23時36分苫小牧測候所／A火口火山灰噴出し山腹降灰／17、8・8、12・12、16、26、29にも噴火）

6月1日 ヒメマス解禁日、強風で釣舟6艘転覆1人死亡1人行方不明

6月21日 CBSソニー、ラプリーズ「紅すずらの伝説」発売（作曲平尾昌晃）

8月17日 齊藤實、苔の洞門調査（環境庁主管）

10月15日 美笛郵便局閉鎖

昭和54年（1979）

1月30日 第1回千歳・支笏湖水濤まつり開催（2・11／S53・11製作開始・竹中敏洋指導）

1～5月 樽前山小噴火

4月 支笏湖神社現在地（支笏湖小付近）に遷す↑S32旧ビクターセンター横（海軍航空隊社殿移築）↑山線鉄橋南側（山線湖畔駅）斜面

樽前山登山規制（5月登山禁止）

7月1日 自然公園美化管理財団支笏湖支部設立

7月25日 支笏湖畔駐車場有料化（環境庁所管地のみ）

この年 中央バス、札幌～幌美内～支笏湖～千歳空港間運行

モーラップキャンプ場失火

イチャニコツペ山頂に反射板設置（北海道開発局）

丸山遠見望楼新築（木造4階建13m）

松竹「男はつらいよ 翔んでる寅次郎」シリーズ第23作公開（山田洋二原作・監督／渥美清、倍賞千恵子、マドンナ・桃井かおり）ロケ地・支笏湖

昭和55年（1980）

4月1日 千歳山岳会設立

4月18日 紋別岳林間スキー場基礎調査結果公表

5月1日 支笏湖ビクターセンター開設

この年 環境庁支笏湖自然保護官事務所建設

コープさつぼろ、支笏湖レイクサイドホテル買収し営業開始

勇払川上流の滝を「7条大滝」と命名、高さ16m、幅2・3m、流量

1万2493m³/日

昭和56年(1981)

2月27日 樽前山小噴火

7月1日 支笏湖ユースホテル新築営業開始

8月 二度の豪雨で有料道路決壊(56台風)

11月 自然探究路整備完了(湖畔くモラップ)

ママチ川ヒメマス養殖施設(泉沢養魚場)完成

この年 滝笛環境資源振興協議会発足(苫小牧営林署苗畑閉鎖↓跡地利用打診

↓検討)

支笏湖ヒメマス保護協力会解散↓支笏湖漁業組合設立

昭和57年(1982)

3月31日 苫小牧市立丸山小学校閉校

4月26日 泉沢養魚場(チップの里)開場

6月1日 ヒメマス釣り3年ぶり解禁

9月14日 国道276号滝笛トンネル(1545m)開通(貫通)式

この年 支笏湖小学校新(現)校舎完成

昭和58年(1983)

7月1日 樽前山登山規制解除

8月10日 支笏湖下水道終末処理場(支笏浄湖苑)通水式

10月 苔の洞門、仮設駐車場供用

この年 支笏湖グランドホテル休業

道設支笏湖紋別岳鳥獣保護区(北東斜面425ha)・特別保護区(頂

上北側49ha)設定(H15・3更新、次期H34・9・30)

昭和59年(1984)

1月 氷濤まつり水像著作権問題顕在化(著作権者・竹中敏洋)

3月21日 苔の洞門運営協議会設立

4月14日 支笏湖畔有料道路無料化

5月27日 道道支笏湖公園自転車道線全線開通

10月5日 美笛峠新ルート開通

11月 休暇村園地展望台完成

この年 第3セクター滝笛環境資源振興協議会設立

昭和60年(1985)

4月18日 滝笛環境資源振興協議会解散

11月1日 苫小牧営林署支笏合同担当事務所新築披露

この年 「美笛国際森林レクリエーション事業構想」策定(市)

この頃 美笛食堂開店(旧・千歳鉱山配給所)

昭和61年(1986)

2月24日 千歳鉱山休山式

3月29日 支笏湖市民センター(湖畔支所↓支笏湖支所)竣工

4月20日 字名改正「湖畔」↓「支笏湖温泉」

6月1日 中央バス・道南バス、新千歳空港↗美笛↘洞爺湖温泉直行バス運行

10月 恵庭岳オリンピック顕彰碑維持管理問題顕在化(S62・10スポーツセンター移設)

この頃 樽前山に非固有種コマクサ違法移植

昭和62年(1987)

9月13日 第11回全国畜樹祭お手入れ行事開催(支笏湖畔モラップ山麓/皇太子

同妃両殿下ご出席)

この年 環境庁、公用水域水質測定結果初公表…支笏湖Ⅱ湖沼水質日本一

(S 63、H 4、5、7、11、12、14、17、19、25も水質日本一)

「美笛国際森林レクリエーション事業構想」名称変更↓「支笏湖国際
コンベンション・リゾート構想」とし大規模開発を図る国際会議場構想
山陽国策パルプ(現・日本製紙)健康保険組合支笏湖畔荘開設(岩倉
建設トムロジ支笏湖買収)

苔の洞門、コケ養生・駐車場整備のため開放なし

昭和63年(1988)

1月 支笏湖の水とチップの会発足

10月10日 支笏湖紅葉まつり中止。昭和天皇が9月19日病状悪化し全国的にイベ
ント自粛(代替・支笏湖観光運輸5000円大人入袋発売)

この年 旧・支笏湖畔有料道路第7覆道建設

昭和64年(平成元年/1989)

6月23日 北海道さけますふ化場新庁舎落成

10月3日 国道276号モラップ付近切替

この年 美笛食堂廃業

国設モーラップ山スキー場山頂リフト運休

苔の洞門に臨時公衆電話設置

平成2年(1990)

3月16日 スウェーデン国王、丸駒温泉旅館にご宿泊

4月10日 支笏湖商工会立ち上げ(2回目)

4月11日 支笏湖観光船レストハウス増築新装開店

8月1日 支笏湖小学校、支笏湖周辺美化活動で環境庁長官賞受賞(H元)全国
森林レクリエーション協会会長表彰、S 63北海道知事賞

9月 旅亭あしり支笏湖開業

12月1日 樽前山車馬等乗入規制地区指定

この年 「支笏湖国際コンベンション・リゾート構想」名称変更↓「支笏湖美
笛地区自然環境整備利用計画」↓反対意見があり中止

平成3年(1991)

2月 気象庁、恵庭岳を活火山指定

3月29日 支笏湖診療所新庁舎落成

4月 自然研究路、休暇村モラップ間整備完了(※)

8月1日 消防署支笏湖温泉分遣所、出張所昇格

平成4年(1992)

8月5日 第34回自然公園大会開催、常陸宮同妃両殿下ご出席(丸駒温泉御泊)

9月 支笏湖グランドホテル廃業、解体始まる(H5植栽返地)

平成5年(1993)

4月1日 道道札幌支笏湖線、国道453号として昇格

11月1日 支笏湖ヒメマス移植1000年・養殖ヒメマス出荷10周年記念祝賀会

12月1日 苫小牧市営バス支笏湖線、中央バスに移譲(H13休止、H14廃止)

この年 「支笏湖美笛地区自然環境整備利用計画」の一部として「千歳市野営
場整備計画」策定

平成6年(1994)

1月 現・第5駐車場トイレ改築

この月 幌美内に現・トイレ設置(4月開放/旧・トイレS55設置)

温泉街歩道カラーブロック化完成

休暇村、モーラップキャンプ場管理千歳市から受託(※)

9月10日 千歳さけのふるさと館開館(千歳青少年教育財団)

12月5日 水産庁、さけの里ふれあい広場開設記念式

この年 温泉街商店街周囲に排水溝設置

国設モーラップ山スキー場休止

平成7年(1995)

2月 支笏湖温泉園地西側展望台完成

3月 支笏湖温泉中層市営住宅完成(入居受付3・15)

4月 モラップ自由キャンプ場進入規制実施

8月21日 支笏洞爺国立公園、公園区域・公園計画見直し再検討↓支笏湖集団施設地区区域変更(S28※指定以来初)

9月5日 山線4号機関車帰郷式(静態保存/苫小牧王子アカシア公園)

9月8~10日 支笏湖とチツプの会+高知大学↓湖最深部調査(H8も実施)

10月14日 ヒメマスフォーラム開催

12月 温泉街に身障者用電話ボックス設置(市内2カ所目)

この年 美笛キャンプ場、苫小牧営林署から千歳市に譲渡

東宝『キャンプで逢いましょう』公開、後藤久美子主演/ロケ地・支笏湖美笛キャンプ場(主題曲/松任谷由美 Midnight Scarecrow)

平成8年(1996)

平成8年(1996)

1月 氷像制作過程パネル写真展示(氷濤まつり会場初)

4月1日 北海道営林局漁岳周辺地域森林生態系保護地域設定

「支笏湖畔国民休暇村」名称変更↓「休暇村支笏湖」

4月14日 温泉街初、身障者用ブース付の中央トイレ開放(通称・丸駒トイレ)

6月8日 苔の洞門、安全対策工事で開放遅延(入口左岸壁崩落危険箇所↓危険箇所ダイナマイト、ドリル除去)

9月21日 恵庭岳ポロピナイ沢大規模土石流発生(S46以来)

10月14日 温泉街初、押しボタン式信号機設置(国道453号横断歩道)

11月1日 千歳市の魚制定(ヒメマス、サケ)

平成9年(1997)

8月10日 恵庭岳ポロピナイ沢土石流発生(9・27にも発生)

10月7日 ラルマナイ林道改良完成し恵庭岳公園線ルート切替

10月 道道支笏湖線、国道276号↓美笛キャンプ場分岐間舗装

11月22日 山線鉄橋開通式(H7↓解体修理)

この月 道道支笏湖線、美笛↓奥潭間土砂崩れのため通行止め

美笛沖、マグロの頭騒動(釣りのため(※)↓回収廃棄)

12月3日 支笏湖支所開設50周年を祝う会開催

この年 モラップキャンプ場、千歳市から環境庁移管↓休暇村支笏湖運営

平成10年(1998)

2月 高知県南国市立奈路小学校児童、支笏湖小学校初訪問「雪国体験」(6月、支笏湖小児童が奈路小訪問/H8↓交流)

4月 休暇村温排水公共下水道と接続、温泉地区配水完全処理達成

5月 道道支笏湖線、美笛↓奥潭間土砂崩れのため通行止め

8月11日 千歳市ヒメマスふ化場開設(水産庁譲渡)

この年 国道453号幌美内↓札幌間24時間通行可

美笛キャンプ場リニューアル完了(3カ年度計画)

平成11年(1999)

1月 支笏湖レイクサイドホテル休業(H13・11解体)

7月10日 支笏洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム開催

7月30日 千歳川放水路計画中止決定

10月 ポロピナイ沢治山工事完了(ダム20基、空堀水路)

平成12年(2000)

2月9日 樽前山火山防災協議協議会(樽防協)設立(事務局苫小牧市)

3月31日 有珠山噴火

4月26日 支笏湖美化センター開館

この月 休暇村園地展望台建替開放

ホテル翠明閣休業

9月28日 支笏湖畔バスセンター営業終了

この月 「緑のダイヤモンド計画（自然公園核心地域総合整備事業）」基本計画策定公表

この年 日本製紙健康保険組合支笏湖畔荘閉鎖

平成13年（2001）

2月1日 発達した低気圧によって国道453号（旧・有料道路区間）で雪崩16カ所発生

この月 支笏湖全面結氷（23年ぶり、2・15～4・10）

3月16日 支笏湖小学校卒業式、児童自主制作十雀洋一監督編集指導「支笏湖の宝物」上映

この月 「緑のダイヤモンド計画」基本計画公表

樽前山火山防災マップ作成（樽防協）

4月2日 消防署支笏湖温泉出張所新築落成

この月 支笏湖温泉農林省所管地、環境庁へ所管替

6月5日 苔の洞門崩落全面閉鎖

7月1～3日 支笏湖小学校児童TV「モグモグゴンボ」収録で沖縄県宮古島市立池間小学校（池間島）訪問（H13・2・24、25池間小児童が支笏湖小訪問）

小訪問

8月10日 恵庭岳山頂部登山規制（H25自粛要請）

10月11日 「緑のダイヤモンド計画」温泉地区整備・駐車場改良着手

10月15、16日 支笏湖ブラックバス初調査（道立水産ふ化場）

12月 小野寺昌道、支笏湖新確認ヌマチチブ、オヒルムシロを環境省報告

この年 モラップ山スキー場閉鎖確定

丸山遠見望楼新築（四代目／木造4階建・高さ13m）

樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業、紋別岳中継局開設

平成14年（2002）

1月5日 支笏湖まちづくりプロジェクト結成

2月20日 旅亭あしり支笏湖休業（6月定山溪第一ホテルへ譲渡）

この月 支笏湖漁業組合設立20周年記念講演会・祝賀会開催

5月15日 樽防協「樽前山火山防災計画」策定

樽前山噴出物確認

この月 支笏湖ビジターセンター改築のため休館

7月1日 「自然公園美化管理財団」名称変更↓「自然公園財団」

7月20日 苔の洞門、入口に観覧台設置↓暫定開放

8月6日 米軍キャンプ場跡地、閉鎖ゲート設置

9月1日 支笏湖第一寶亭留翠山亭開業

11月30日 奥潭無許可棧橋、札幌土現千歳出張所撤去

この年 支笏湖地域花調査グループ（代表佐々木幸夫）が支笏湖温泉園地・野鳥の森・紋別岳調査↓2003年ガイドマップ『支笏湖の草花、木の

花』作成

平成15年（2003）

1月 苫小牧市道モラップ1号線、水濤まつり期間中開通

2月 国道453号（旧・有料道路区間）ポロピナイ覆道完成

3月 支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター閉所

4月26日 奥潭で山菜採りの男性（70）転落死

この月 「緑のダイヤモンド計画」親水広場完成（山線鉄橋南側）

5月 千歳の自然保護協会、美笛巨木の森調査：幹周1m以上54本、最大

233cmハルニレ

7月5日 支笏湖ビジターセンター、リニューアルオープン

この月 樽前山噴出物確認

9月2日 支笏湖自治振興会、自主防災会結成

9月14日 台風14号、倒木が美笛キャンプ場テント直撃、死者1、負傷2

この月 苔の洞門ネイチャーセンター完成（H16・6供用）

11月 紋別岳くイチャンコッペ山トレッキングルート調査（市）

加森観光、三井観光開発から支笏湖観光運輸株全株取得

樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業、モラップ中継局開設

この年 札幌土現千歳出張所監視支局設置

平成16年（2004）

1月 支笏湖まつり実行委員会、氷濤まつり会場で感動支援金呼掛け

2月 消防署支笏湖温泉出張所、救急車配備

3月1日 丸駒温泉旅館、大浴場改修のため休館（4・21営業再開）

8月1日 NPO法人支笏湖まちづくり機構、Zooステージ活動開始

9月8日 台風18号、支笏湖周辺森林大被害（支笏湖温泉孤立、停電）

平成17年（2005）

1月 国道453号（旧・有料道路区間）モンベツ覆道完成

3月15日 支笏湖青少年研修センター閉所式

3月20日 恵庭岳北尾根、雪崩発生1人重傷

4月10日 支笏湖観光運輸水中遊覧船運航開始（エメラルド18t、サファイア17t）

6月25日 道の駅サーモンパーク千歳、営業開始

8月 特定外来生物ウチダザリガニ確認（小野寺昌道）

11月下旬～12月29日 支笏湖地区、エゾシカ有害駆除始まる

平成18年（2006）

2月19日 千歳山岳会、氷濤まつり会場でアイスクライミング披露

この月 公園計画変更・支笏湖動力船規制要項発表（環境省2・20告示/千歳

市、動力船規制承認線受付3・15～4・20）

4月16日 ポロピナイ休憩所（支笏湖観光センター）、火災により閉鎖

5月 自然公園財団支笏湖支部アライグマ捕獲調査始まる（H25春

平成19年（2007）

3月 泉沢養魚場休止（H23）日本海さけ・ます増殖事業協会飼育施設

4月 支笏湖温泉地区活性化協議会（会長福永郷正）発足

5月20日 モーラップ全国植樹祭の森四十七年目の記念植樹

7～10月 支笏湖地区、特定外来生物オオハンゴンソウ駆除始まる

10月23日 支笏湖漁業協同組合設立総会

11月 王子発電所・山線4号機関車、経済産業省「近代化産業遺産」認定

この年 国土地理院地図修正、美笛川↓モシルン美笛川、モシルウン美笛川↓ソウオン美笛川、美笛川本流（ダムく湖）↓改称・千歳川

平成20年（2008）

3月1日 支笏湖漁業組合、漁業権免許（北海道知事）

3月31日 支笏湖商工会解散（2回目）

4月1日 環境省支笏湖地区初の女性保護官柳谷牧子着任

4月27日 ポロピナイ休憩所（支笏湖観光センター）建替開業

この月 鶴雅観光開発、支笏湖観光ホテル買取

5月 新北光石油支笏湖ステーション閉鎖（S43市内業者開設、S53新北光

引継）

この月 環境省、モラップ地区園地整備完了

6月29日 支笏湖いかだ渡りプロジェクト（S52以来）

7月1～9日 ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖開催

7月8日 洞爺湖サミット開催

8月1日 レイクサイドヴィラ翠明閣開業（3月王子経営権↓丸駒温泉旅館）
秋 支笏湖漁業協同組合、産卵後ヒメマスⅡほつちやれ↓「秋ひめ」命名
ポロピナイキャンプ場、年度内閉鎖決定

11月1日 支笏湖北海ホテル冬季休業

平成21年（2009）

1月28日 支笏湖小学校、石狩森林管理局と遊々の森協定締結

5月15日 千歳ニツウサービス支笏湖給油所開店

しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の調開業

6月20日 支笏湖いかだ渡り大会

7～9月 苔の洞門モニターツアー（5H24）

8月1、2日 支笏洞爺国立公園60周年記念行事開催

9月11日 支笏湖自然保護官事務所改築開所式

11月26日 北海道地方環境事務所、天皇陛下御在位20年記念植樹（ビクターセン
ター前、園地などにキタコブシ3本）

平成22年（2010）

4月11日 湖水開きに合わせ、温玉ライス提供に関する調印式・発売開始

5月22日 日中韓3カ国環境大臣会合開催（リゾートスパ水の調）

11月 支笏湖北海ホテル全面休業

この年 快速艇、丸駒温泉・いとう温泉・オコタンへの乗合運航休止

平成23年（2011）

1月 真冬日連続23日記録（12・31～1・22）

3月11日 東日本大震災（震度Ⅱ支笏湖温泉2、千歳4）

4月1日 千歳観光連盟、一般社団法人化

6月7日 風不死岳活火山認定（火山噴火予知連絡会）

平成24年（2012）

4月20日 千歳観光連盟周遊自転車、ビクターセンターにて貸出開始

7月10日 支笏湖駐在所新築開所式

11月1日 支笏湖温泉旅館組合、札幌～支笏湖間無料シャトルバス・名湯ライ
ナー運行開始

ナー運行開始

12月6日 30年ぶりの増水と低気圧による強風で貫田栈橋損壊などの被害

平成25年（2013）

1月 リゾートスパ水の調、支笏湖北海ホテル買収

真冬日連続24日記録（1・1～24）

3月5日 支笏湖温泉新泉源湧出（第2泉源／ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物
泉）、33・2℃・510ℓ／分（動力揚湯）

4月 いとう温泉（含・プリンスホテル跡地）を鬼怒川金谷ホテル買収

11月2日 恵庭岳ポロピナイ沢、札幌在住女性滑落死

この月 イチャコッペン山頂反射板撤去（南北2基、北海道開発局）

平成26年（2014）

2月25、27日 越冬エゾシカ学術捕獲実施、銃器を使用し国道435号（旧・有
料道路）閉鎖、酪農学園大学ほか、12頭捕獲

4月13日 支笏湖温泉第2泉源開湯式（第1泉源廃泉／湖水開き）

6月26日 支笏湖ヒメマスふ化場（S3建）・養魚池解体

9月11日 豪雨（日降水量276.5mm）、苔の洞門第1第2人口崩落、ポロピ
ナイ沢土石流で国道453号通行止被害等、温泉地区に避難勧告

12月19日 支笏湖ヒメマスふ化場新築落成（12・25開湯式）

（編／先田次雄・守屋憲治）